


第252号
2024年3月3日

日本大学鶴ヶ丘高等学校 広報部
東京都杉並区和泉2-26-12
TEL 03-3322-7521 (代)
<https://www.tsurugaoka.hs.nihon-u.ac.jp>



第2学年沖縄修学旅行

学校行事《第3学期》

- | | | | |
|------|----------------------|------|-----------------|
| 1月9日 | 始業式 | 22日 | 芸術鑑賞教室 |
| 10日 | 2年 実力養成講座（～2月26日） | 28日 | 3年生を送る会 |
| 15日 | 3年 大学入学共通テスト自己採点 | 3月3日 | 第73回卒業証書授与式 |
| 16日 | 1年 特進コース 記述模試 | 5日 | 1・2年 学年末試験（～8日） |
| | 2年 特進コース 記述模試（～17日） | 10日 | 新入生招集日 |
| 17日 | 2年 総進コース 志望理由書講座 | 11日 | 1・2年 答案返却日 |
| 20日 | 実用英語技能検定（1・2年全員受験） | | 一般選抜合格者報告会 |
| 22日 | 推薦入学試験（総進・特進） | 14日 | 普通救命講習会 |
| 27日 | 総合型・学校推薦型選抜合格者報告会 | 19日 | 令和5年度修業式 |
| 31日 | 2年 総進コース 志望理由書初回 | 22日 | 春期外部特別講座（～27日） |
| 2月6日 | 2年 特進コース | | |
| | 大学入学共通テスト模試（～7日） | | |
| 10日 | 一般入学試験（総進・特進） | | |
| 13日 | 1・2年 総進コース 日大チャレンジ模試 | | |



令和5年度 第73回卒業証書授与式

卒業おめでとう

第七十三回卒業証書授与式が、令和六年三月三日(日)挙行された。四五三名(男子一八九名、女子二六四名)の卒業生が、数々の思い出と未来への希望を胸に新たな一歩を踏み出した。

一 式次 第一

開式

国歌斉唱

卒業証書授与

総代 森谷 海玲(千川中)

日本大学学長賞 学業部門

小林 あい(調布五中)

日本大学学長賞

学術・文化部門(団体)

放送部代表

永井 明日香(千歳中)

優等賞

代表 上田 ひかる(三鷹五中)

皆勤賞・精勤賞

代表 松下 歩未(東調布中)

校長賞(皆勤賞受賞者の保護者)

代表 松下 純子様

優秀賞 スポーツ部門(個人)

植松 春香(常盤中)

生徒会功労賞

代表 齋木 健次(開進一中)

学校長式辞

学長告示

学校から卒業生へ記念品贈与

代表 稲垣 海咲(つくし野中)

卒業生から学校へ記念品贈呈

代表 久保田 彩生(東田中)

同窓会から卒業生へ記念品贈与

代表 木村 優那(桜丘中)

桜園会から卒業生へ記念品贈与
代表 植竹 莉未(国立一中)
在校生代表送辞
村上 統美(北町中)

卒業生代表答辞

村上 琴乃(板橋三中)

卒業生保護者代表謝辞

藤川 淳様

校歌斉唱

閉式

各賞受賞者

〔日本大学からの表彰〕

日本大学学長賞 学業部門

I 小林 あい(調布五中)

日本大学学長賞

学術・文化部門(団体)

放送部

優秀賞 スポーツ部門(個人)

K 植松 春香(常盤中)

優等賞

A 森谷 海玲(千川中)

C 植竹 莉未(国立一中)

C 久保田 彩生(東田中)

E 松下 歩未(東調布中)

E 村上 琴乃(板橋三中)

F 稲垣 海咲(つくし野中)

I 小林 あい(調布五中)

J 齋木 健次(開進一中)

L 上田 ひかる(三鷹五中)

L 木村 優那(桜丘中)

〔本校からの表彰〕

皆勤賞(校長賞)

※〔〕内は校長賞・皆勤賞受賞者の保護者に贈る

A 岡田 智也(武蔵野一中)

〔理恵子〕

小林 穂乃花(立川三中)

〔喜美子〕

染谷 優寿香(鷲宮東中)

〔百合香〕

長岡 俐来(上祖師谷中)

〔奈保子〕

B 小野寺 優(府中三中)

〔百合子〕

C 小川 裕真(松ノ木中)

〔節子〕

甲斐谷 美羽(清新一中)

〔豊子〕

小林 祐馬(鶴川中)

〔美穂子〕

齊藤 幹太(有馬中)

〔智子〕

松澤 直輝(笹塚中)

〔和美〕

D 平野 真菜香(用賀中)

〔智子〕

E 湯浅 理子(中野四中)

〔和美〕

枝村 苺奈(高陵中)

〔千秋〕

鶴崎 夏菜(武蔵野一中)

〔容子〕

中里 深花(富士見台中)

〔清子〕

F 松下 歩未(東調布中)

〔純子〕

五十嵐 梨乃(葛西三中)

〔美和〕

川原 梨緒(領家中)

〔かおり〕

H 田中 咲羽(北沢中)

〔裕美〕

牧 莉衣菜(青葉台中)

〔陽子〕

宮川 奈々(稲田中)

〔直子〕

山口 富篤(上柚木中)

〔由香〕

I 篠宮 沙希(神代中)

〔万愉美〕

菅原 真緒(三鷹一中)

〔園子〕

J 鈴木 はな(大森八中)

〔美和〕

泉谷 壬勇(小平四中)

〔みどり〕

K 首藤 大和(石神井中)

〔権乃兵衛〕

中島 梨里(三原台中)

〔わか奈〕

L 澤田 莉央(青梅一中)

〔好美〕

中尾 美羽(富士見丘中)

〔智美〕

K 古村 杏貝(塚中)

〔知子〕

L 土佐 和音(音羽中)

〔利恵〕

中井 実紅(東村山三中)

〔真弓〕

K 山田 みなみ(三鷹一中)

〔裕子〕

L 木村 優那(桜丘中)

〔直子〕



精勤賞

- A 小野 花恋(小金井二中)
- B 吉川 由珠(生田中)
- 田中 健士朗(旭丘中)
- 増田 亮斗(南が丘中)
- 宮田 美香(天沼中)
- C 佐々木 大雅(市川二中)
- 谷内 菜々美(宮前中)
- 三浦 日菜(松本中)
- D 鈴木 杏桜花(赤羽岩淵中)
- 関崎 友翔(落合中)
- G 武藤 遥香(深沢中)
- 植村 実結(上祖師谷中)
- H 河井 隆一(旭中)
- 神原 大成(篠崎中)
- H 伊藤 大起(竹早中)
- I 大江 那奈(有馬中)
- 打田 優奈(府中十中)
- 大上 真由(高井戸中)
- 小林 あい(調布五中)
- 竹内 朋杏(向陵中)
- J 廣地 桜乃(共和中)
- J 木村 心音(大泉学園中)
- 平山 勝也(もえぎ野中)
- L 千田 美来(生田中)

〇厚生委員会

- A 萩宇田 瞳(国分寺一中)
- 〇部活動運営委員会
- H 久保 皓正(稲田中)
- 〇選挙管理委員会
- F 山本 剛桜(松濤中)
- 〇鶴ヶ丘祭実行委員
- L 牧野 結衣(勝瀬中)
- 〇体育祭実行委員会
- F 小泉 心翔(中野二中)
- 〇編集委員会
- L 上田 ひかる(三鷹五中)
- 〇図書委員会
- H 宮本 隼羽(府中十中)

〇テニス部

- D 関崎 友翔(落合中)
- E 河野 文音(多摩中)
- 〇男子ソフトテニス部
- J 板橋 志成(桜川中)
- 〇女子ソフトテニス部
- H 中村 結衣(高南中)
- 〇バドミントン部
- J 斎木 健次(開進一中)
- D 鈴木 杏桜花(赤羽岩淵中)
- 〇剣道部
- I 小林 あい(調布五中)
- 〇弓道部
- A 岡田 智也(武蔵野一中)
- B 武居 知佳(狛江二中)
- 〇空手道部
- D 棟居 龍之介(亀戸中)
- A 中基 有香(東深沢中)
- 〇ゴルフ部
- H 宮本 隼羽(府中十中)
- 〇ウエイトリフティング部
- H 久保 皓正(稲田中)
- B 富田 菜央(調布三中)

〇演劇部

- I 篠宮 沙希(神代中)
- 〇吹奏楽部
- K 澤田 莉央(青梅一中)
- 〇バトントワリング部
- E 松下 歩未(東調布中)
- 〇カラーガード部
- K 白石 梨花(高島一中)
- 〇茶・華道部
- E 枝村 苺奈(高陵中)
- 〇料理部
- G 植村 実結(上祖師谷中)
- 〇書道部
- I 久保田 千愛(中野中)

〔その他からの表彰〕

- 東京私立中学高等学校協会より表彰
「協会表彰」(団体)
放送部
- 東京都知事より表彰
都知事賞
L 上田 ひかる(三鷹五中)
会長表彰
- E 村上 琴乃(板橋三中)
東京都高等学校体育連盟より表彰
体育優良生徒
- B 富田 菜央(調布三中)
- H 久保 皓正(稲田中)
優秀校
ウエイトリフティング部
- 空手道部
優秀選手
D 荒川 里音(府中六中)
H 久保 皓正(稲田中)
東京都高等学校文化連盟より表彰
文化活動優良生徒
- G 相宮 優佳(赤塚二中)
K 永井 明日香(千歳中)
杉並区より表彰
杉並区スポーツ栄誉顕彰
C 小川 裕真(松ノ木中)

生徒会功労賞

- 〇生徒会長
E 村上 琴乃(板橋三中)
- 〇生徒会副会長
A 一 航生(大泉学園校中)
- 〇学級委員会
I 篠宮 沙希(神代中)
- 〇風紀委員会
J 首藤 大和(石神井中)

部活動(体育系)

- 〇スキー部
K 長澤 楓音(三鷹二中)
- D 堀口 あかり(稲城六中)
- 〇陸上競技部
H 樋口 裕太(井草中)
- 〇野球部
J 高見澤 晴翔(小金井一中)
- 〇サッカー部
H 前田 拓海(武蔵野六中)
- 〇男子バスケットボール部
I 杉本 悠輔(那珂中)
- 〇女子バスケットボール部
I 打田 優奈(府中十中)
- 〇男子バレーボール部
A 川島 一聖(小平四中)
- 〇女子バレーボール部
G 久保寺 未優(稲田中)
- 〇アメリカンフットボール部
J 新保 颯(中川西中)

部活動(文化系)

- 〇写真部
G 西川 蒼来(石神井南)
- 〇放送部
K 勝畑 良太(八幡中)
- 〇サイエンス部
E 村上 琴乃(板橋三中)
- 〇情報部
A 木村 栄輝(府中六中)
- 〇英語部
D 溝口 蒼来(明星学苑)

団体功労賞

- スキー部
アメリカンフットボール部
テニス部
空手道部
放送部



「あなたは何をもって 憶えられたいか」

学校長 川原 容子



「何をもって憶えられたいか」

言い換えるならば、身近な又は未来の仲間・自分の子孫に、自分がどういう存在として記憶にとどめておいてもらいたいのか、意識しなさいということです。と聞くと、偉人を目指すのか？と思われがちですがそうではありません。

今の自分よりちょっとだけ良い自分を想像して、過ごしていくことを勧めています。

「マネジメント」の著者で有名なドラッカー氏は、ハンブルグにいた時代、よくオペラを聴きにいったそうです。彼は十九世紀を代表するオペラの作曲家ヴェルディが八十歳で書き上げた最後のオペラ「ファルスタッフ」に強い衝撃と感銘を受けました。

その後、ヴェルディが、八十歳という高齢になってまで、なぜこの壮大で難解なオペラを書こうとしたのかを知ります。

「いつも失敗をしてきた。だからこ

そ、私にはもう一度挑戦する必要があった」

若いころから名声を手に入れていた大作曲家であっても、死ぬまでもっといい仕事をしようという意識を持ち続けていました。

ドラッカー氏は、そこから「私もいつまでも目標とビジョンをもって自分の道を歩き続けよう。失敗し続けたとしても」と決意したそうです。

今の自分より少しだけよい自分を思い浮かべながら過ごすことで、夢への強い想いや、なりたい幸せな自分を引き寄せられます。

毎日のそうした心の在り方が、「なりたい自分」へと向かい、数年後、数十年後には確実に変わった自分を実感し、幸せになれると信じています。

更に、「あなたの強みはなんですか？」

未だ日本の教育では、とかくすべてそれなりに出来ることを求められがちですが、出来るところと出来ないところのデコボコがあつていいのではないのでしょうか？

弱みを克服するよりも、強みを大いに伸ばすことを、もっと考えていきましよう。

社会や世界の課題は、既に単独では解決はできなくなつてきています。だからこそ「和衷協同」によつて、チームで解決する一人として、強みを生かして活躍できます。

「このプロジェクトは、○○さんなら任せられる」と思われるような人、既存の仕組みがなければ、起業して社会参画できる人、そんな頼もしい人材

になつて下さい。貴方達に出会えたことに心から感謝しています。

言葉の花束



卒業おめでとう

健康第一に、思いやりをもって、新たな出会いを楽しんでください。君たちならば、素敵に成長していただけるでしょう。卒業おめでとう。

鶴高生の応援団

A組担任 伊勢川 美佳(家庭科)
人生も突然、これまでの生活が一変することが起こるから、全力で歩んでほしい。これまでは保護者・先生・学校が、みんなを守ってきたよ。面倒だったと思うけど、それも愛情。これからは自分で決断し、責任を取るんだよ。

コロナ禍を乗り越えたみんなならできるから。嬉しいときや苦しいときに、鶴高を思い出してくれたら嬉しい。顔を見せに来てくれたらなお嬉しい。卒業おめでとう。

これからの人生に幸あれ。

卒業おめでとう

学年主任 滝澤 満(理科)
『高校生の時にしかできない経験がある。』

それは、勉強や部活動、そして私生活などすべてにある。

それらを経験し、大きく成長していつてほしい、と伝えてきました。

この言葉をみんなの卒業にあたり次のように変化させます。

『今しかできない経験がある。』
とても大切な時間は、まだまだ続きます。

きみたちはどう生きるか

B組担任 山内 智史(英語科)
夢を持って
理想を語れ
努力を重ねろ
人格が磨かれていく
信念を持って
己の想いを貫き通せ

心から好きなことをしろ
一度きりの人生が輝く

学び続ける
成長し続ける

思いがけない未来に出会える

努力は運命を支配する

利他の心を持ち
足るを知り

人のために尽くせ

めぐり巡って自分の幸となる

素直に謙虚に正直に
どれだけ稼いでも

どれだけ偉くなっても
心の使い方を誤るな

優しくあれ
誰にでも優しくあれ

優しさは伝染する
溢れるほどの夢を描いて

心が叫ぶままに生きろ
出逢えてよかった、ありがとう

Satoshi

「立派な大人」になれたかな

C組担任 土橋 久美子(数学科)

私は、四月に自分のクラスや授業担当のクラスの生徒に、学校というのは「立派な大人」になるために勉強するために来ているんだということ、そして「立派な大人」になるには自立することが大切で、自立するには自分のことができるだけではなく困った時により多くの人に支えてもらうことができることも必要だと伝えたね。一緒に取り組んできた『学び合い』を通じて「立派な大人」になれていたら嬉しいですよ。卒業おめでとう&ありがとう！

大人だからできること、できないこと

D組担任 加藤 寛典(英語科)

ご卒業おめでとうございます。高校を卒業した後は自律した振る舞いを求められる場面が多くなります。楽しいこと、辛いことがあると思いますが、一つ一つのことへポジティブに向き合えるといいですね。

失敗を恐れずに前へ

E組担任 中川 光(地歴公民科)

卒業おめでとうございます。ミスが多く、まだまだ未熟であることを自覚する一年でした。そんな担任を今まで支えてくれて本当にありがとう。大変感謝しています。

新たなスタート地点に立つわけですが、厳しい社会の中で自分を見失わず、誇りを失わず、失敗を恐れずに邁進していかってください。また異なる環境の中で育った多くの人たちと交流し、語らい、人格形成に努めていってください。

最後に、新スタートを切る君たちに、言葉を送ります。

「青春の失策は、壮年の勝利や老年の成功よりも好ましいものだ」

ーベンジャミン・ディズレーリーー



初心忘るべからず

F組 三塚 咲(保健体育科)

三年生の皆さんご卒業おめでとうございませう。

なにかを頑張ると決めた時、どんな気持ちでしたか？楽しい時、悩んだ時、近くにいたのは誰でしたか？なにかを始めた時の記憶やその時に味わった気持ち、そこから今にいたるまでの皆さんの努力を忘れてはダメですよ。自分が選んだ道を信じ続けてください。

私にとって初めての卒業生、ともに歩んだ三年間は最高の時間でした。

皆さんの未来がたくさんの愛で咲き誇りますように！いつも応援しています！全力で！

大人の役割

G組担任 酒匂 守夫(国語科)

今から随分長い時間が経った頃、君たちが本当の意味で感謝する人達は君たちに優しくかった人ではありません。それは、いま君たちがどうしようもないほど憎み恨んでいる人です。優しい人は君たちを肯定してくれたかもしれない。しかしそれは同時に、無限に成長する可能性を秘めた君たちから成長するチャンスを奪ったとも言えます。幼少期の君たちがどれほど嫌がっても箸の使い方を教えた人、提出物を出さないのを何度も催促した人、誤魔化さずに君たちの悪い所を指摘した人。君たちをもう一歩前に成長させてくれたのは、そんな人達だったのではないのでしょうか。

あと何年か経ったら、今度は君たちが腹を括って相手に恨まれる役割を引き受ける立場になります。準備はできているか？それに耐えうるぐらい、強くなるんだぞ。

じゃあ、またな。

祝

H組担任 萩生田 博美(数学科)

三年生の皆さん、卒業おめでとうございませう！

「夢は動力、経験は財産」次のステージでは、結果を恐れず新しい事にチャレンジしてはいかがですか？今後のご活躍を期待します。

航海の旅路

I組担任 有賀 佐友里(英語科)

舵を右に切るか左に切るか、進路で悩んだあの日も、最後の最後、君たちは自分自身で舵を切った。

舵を切った方向が思いもよらぬ荒波だったときも、自分の目指していた島が見えてきたときも。

人生は選択の連続だ。選択の連続が未来をつくる。未来は勝手にやってくるんじゃない。自分から近づくんのだ。

君たちの航海はまだ続く。ここからが君たちの新たな門出。

また逢う日には航海の旅路を聞かせてほしいな。

君たちとの三年間の航海は最高だった。素敵なクルーに恵まれて、本当に感謝。ありがとう。

塞翁が馬

J組担任 賀来 義蘭(地歴公民科)
人生を九十年ぐらいと仮定すると、十八歳を迎えた皆さんは今どのあたりなのでしょう？

野球で言えば二回の裏ツーアウトぐらいじゃないでしょうか。

ここまで順調でしたか？セーフティリードしてますか？それともいきなり大量失点してお先真っ暗ですか？

今二回の裏ツーアウトです。

ここまで理想的に來れた人、まだまだどうなるかわかりません。油断はできません。ここまで思い通りに來れなかった人、勝負はまだついてません。チャン스는いくらでも作り出せます。

皆さんの人生はこれからです。常に前を向いて歩んで行ってください。卒業おめでとう。

鶴高生よ、ロマンを抱け！

K組担任 小山 拓哉(国語科)

こんな生徒、あんな生徒もいるのだなあと、皆さんと大変濃い新鮮な時間を過ごさせていただきました。忘れられない楽しい思い出をありがとうございます。さて、今年は大河ドラマ『光る君へ』の放送が始まり、夏には映画『キングダム』の続編公開が予定され、古典への注目が一層高まっていくことは間違いないと思います。これからも時には古典に触れて、いにしえの世界や先人に思いを馳せてみるのも一興ではないでしょうか。卒業おめでとうござい

出会いに感謝

L組担任 寺島 伊織(数学科)

卒業生のみなさん、ご卒業おめでとうございます。鶴ヶ丘での三年間はいかがでしたか。高校生活を送る中で、様々な人と出会ったかと思えます。いつも一緒にいてくれる友人や尊敬できる先輩、頼れる後輩、親身になってくれる先生など多くの出会いの中で今日という素敵な日を迎えています。人との出会いはとても貴重なことです。今まで、そしてこれから出会う人たちを大切に過ごしてもらえたら嬉しいです。みなさんのこれからの活躍を期待しています。

ご卒業おめでとうございます

副担任 林 優希(地歴公民科)

高校生活三年間。いかがでしたか。思いはきつとそれぞれでしょうが、多くの人が「あつという間だった」との感想を持っていることでしょう。

これからの三年間はどんな三年間になるでしょうか。そのまた三年後は、十年後は……？いつだって、振り返れば、あつという間です。気が付いたら三十歳、四十歳。未来のことは誰にもわかりません。ですが、その未来をつくっていくのは、他ならぬあなた自身です。

限られた時間を大切に。「トータルしたら、よかったな」と思えるような人生を。元気でね。

あきらめない心

副担任 牛尾 文洋(数学科)

皆さん、ご卒業おめでとうございます。高校入学して早三年、もう卒業の時期なんですね。最後に、今後生活していく上で、あきらめない心という話をしておきます。自分の思い通りにならないことなんてたくさんあります。いくら頑張っても報われないこともあります。その過程が大切になります。本気で頑張ったのか、中途半端に頑張ったのか、で結果は大きく変わります。一度の失敗で人生は決まることはありません。あきらめないで全力で取り組めば、いくらでも未来は変えられる。

よく頑張りました

副担任 久保田 善政(理科)

卒業おめでとうございます。コロナ禍でいろいろと我慢を強いられ、思うようにいかないことが多かったでしょう。そのような中で君たちは腐ることなく、努力を積み重ね、仲間と協力して安全な場を作り、いろいろと乗り越えてきました。よく頑張りました。十年後、二十年後、三十年後の活躍と幸せを祈っています。卒業おめでとう。

出会いを楽しみましょう

副担任 生田目 裕子(理科)

ご卒業おめでとうございます。この三年間、どんな出会いがありましたか？人との出会い、本との出会い、熱中できるものとの出会い…。

日々は、同じことの繰り返しのように見えますが、たくさんの未知のものと偶然出会っています。今後の新しい出会いを楽しんでほしいと思います。

幸あれ

副担任 竹澤 香緒(保健体育科)

三年生のみなさん、ご卒業おめでとうございます。コロナ禍から少しづつ日常が取り戻され、本来の鶴高らしさをみなさんと味わうことができたこと、感謝しています。より一層、鶴高の良さと鶴高生の頼もしさを感じることでできました。これからの人生でも予期せぬことや苦しいこと・悔しいことはたくさん起こると思いますが、前を向き、何事にも挑戦する気持ちを忘れず歩んで行ってください。また会いましょう。

謙虚な気持ちをいつまでも

学年付 谷口 富太郎(英語科)

三年生のみなさん、ご卒業おめでとうございます。四月からはそれぞれ違った進路を歩み、新たなスタートを切ります。よく考えて決めた進路なので、新たな目標に向かってたゆまぬ努力を続けてください。一生懸命取り組んでいる時というのは充実感に満ちているものです。そしていつまでも謙虚な気持ちを忘れないでほしいと思います。「実るほど頭を垂れる稲穂かな」

卒業生の言葉

—三年間の思い出
そして後輩たちへ—

楽しんだもの勝ち

三年A組 木村 栄輝(府中六中)



この三年間で一番印象深いのは、私が一年生のときの文化祭だ。というのも、その当時はコロナ禍が後を引き、通常と異なる形での開催となっていたからだ。ふつう文化祭といえば、教室ごとに作られたブースを巡っていくものを指すのだろう。しかし、その年は感染対策のためにそれが叶わず、各クラスで作った動画を鑑賞しあうことになっていた。私のクラスでは、Mrs. GREEN APPLEが歌う『青と夏』のMVを元にした動画作品を作ることになった。青春をテーマにしたその歌は、制限の多い世の中に不満を抱えてい

た私たちに、高校生活への確かな期待と展望を感じさせるものだった。

作品を作るためにすべきことは多い。編集を買って出た私は、すぐにその安請け合いを後悔した。自分が思っていた以上に編集には時間と手間がかかったのだ。素材の尺も足りない中、それでもなんとか納得のいく形で編集を終わらせることができたのは、ひとえにクラスメイトのおかげと言っている。足りない素材をその都度撮ってくれたり、編集方法の相談に乗ってくれたり。彼ら彼女らには、本当に感謝しても足りない。かくして完成した作品は、学年毎の投票で、二位という好成績を収めるに至った。編集を終わらせた動画をクラスの皆に見せたときの盛り上がりよりは、今でも脳裏に焼き付いている。

通常開催とは違う、ある意味妥協案だったこの文化祭がここまで思い出に残るのは、それを楽しもうとする気概があったからだと思う。三年間しかない高校生活を「しかたない」の一言で終わらせてしまうのもつたいない。皆さんにも、余すこと一、二年となった高校生活を全力で楽しんでほしいと思う。

進学先：日本大学理工学部物理学科

感謝の気持ちを力に変えて

三年J組 高見澤 晴翔
(小金井一中)



私は鶴高での三年間を生涯忘れることはないだろう…。

私が主将を務めた今年の野球部は辛い学年だった。入部当初はコロナウィルスの影響で練習が短く、思い描いていた高校野球生活ではなかった。何よりも辛かったことは憧れと現実のギャップ。野球部の大半は二〇一八年の準優勝を見て、その上を目標に入部していた。しかし、現実には三度の初戦敗退など目標とは程遠かった。負けが続く、本当に勝つことができるのかと不安になっていた。そんなある日、「甲子園連れてって！」とある先生に言われた。この時、負けが続いていても信じて応援してくれている人がいるのだと再確認すると同時に、私たちの学年の野球部のスローガンを思い出した。

「結果が出ていないのに応援してくれる人がいる。必ず夏結果を出す！」

時が経ち三年生の夏季大会。私は毎試合、誰かを想って試合に臨んだ。毎日朝早くから夜遅くまで最高のサポートをしてくれたマネージャー。私たちを成長させてくれた指導者や先生。初戦から応援に来てくれた吹奏楽部やバトントワリング部をはじめとする鶴高生。三年間共に闘ってきたチームメイト。そして家族。数えきれない程の感謝を胸に戦った夏。結果はまたしても準優勝。しかし、私は悔し以上にスタンドをピंक色に埋め尽くし、最高の応援をしてくださった方々への感謝の方が大きかった。十八年間で圧倒的に一番楽しく幸せな夢のような時間だった。

これを読んだ人は感謝すべき相手を思い浮かべてそれを忘れずにいてほしい。私は大学に行つてからも「感謝の気持ちを力に変えて」を忘れずに突き進んで行く。

進学先：東京農業大学国際食料情報学部
国際農業開発学科



感謝

三年K組 澤田 莉央(青梅一中)



日鶴での三年間を振り返ると学業と部活動で心身共に充実していた。

学業においては、早朝の通学時間を活用し、定期テストの対策やユメタンなどの小テストの勉強を電車内でよくしたのを思い出す。朝は家を出るのが早く、部活動がある日は下校時間も遅かったため、家庭学習の時間は限られていたが、隙間時間を工夫して最後まで諦めずに取り組むことができたと考えている。

また、吹奏楽部で過ごした日々は高校生活で最も印象に残っている。新型コロナウイルス感染症による活動制限が徐々に緩和され、対面で演奏を聴いていただけの機会が増えたことが嬉しかった。文化祭では、曲決めをはじめ、構成や演出などの全てを生徒が考えた。二つのパレードと時期が重なり、時間的にも体力的

にも辛い部分はあったが、皆で協力して創り上げ、聴いてくれた方々からの好評を聞くことができて、大きな達成感が感じられた。そして、新たに地域の方々との繋がりを目的としたクリスマスコンサートも忘れられない。前例のない中で演奏会を一つから考えることは非常に大変だった。しかし、どんなことがあっても試行錯誤を重ね、精進し続けたこの日鶴吹奏楽部の日々は私にとって一生の宝物だ。このような環境で部長という役割に就くことができたことを誇りに思っている。顧問の先生方、ご指導ありがとうございました。

私が学業も部活動も頑張ることができたのは家に帰ると沢山話を聞いてくれた家族の支えがあったからだ。そして友達存在も大きかった。いつも元気いっぱいであわせてくれたり、悩んでいることがあると相談に乗ってくれたりと本当に友達に恵まれていた。休み時間は笑い声の絶えない教室、みんなで声を出して一丸となった体育祭。毎日楽しく学校生活を送ることができた私は、三年間無遅刻無欠席無早退だ。多くの人の出会いに感謝したい。三年間ありがとうございました。

進学先：日本大学法学部公共政策学科

三年間の努力

三年L組 古村 杏(貝塚中)



私の高校生活は想像の何倍も楽しいものだった。特進コースに入学した以上、勉強漬けでクラスも静かな雰囲気だと思っていた。しかし自己紹介をした時、担任を含めてほぼ全員が笑いを取っていくようなとても明るいクラスだった。イメージと全く逆でとても驚いた。もちろん、みんな勉強は真面目に取り組んでいて、切磋琢磨している。とても素晴らしいクラスで三年間を過ごすことができたと思う。おかげで私の高校生活はとても充実していた。

私は部活と勉強の両立をしたくて鶴高に入学した。そのくせ、人見知りな私は仮入部に行くのを躊躇していた。幸いにもクラスには同じ部活に先に入部していた友達がいいて、その友達を頼って入部することができた。他の部に所属しているクラスメ

イトも多く、勉強も負けていられないぞと刺激を受けた。大会の関係でテスト前に部活があることもあったが、大会の会場に単語帳を持ち込んだりしていた。そのおかげで、成績は自分の中での目標をキープすることができた。また、部活のことで悩んでいる時は担任やクラスメイトに話を聞いてもらったりして乗り越えることができ、精神的にも成長することができた。最後の大会で勝った時、辛いこともあったが、頑張ってきたよかったですと心から思えた。この三年間は中学生の自分に自慢できるくらいの充実したものとなった。そう思うことができたのは、周りの人や環境のおかげだ。感謝してもしきれない。最後に、私がずっと大切にしている言葉がある。小学校を卒業する時に校長先生がくださった言葉だ。

進学先：信州大学農学部農学生命科学科

「努力したからといって、必ず成功するとは限らない。しかし、成功した人は全て努力している。」この言葉を忘れずに今後も頑張ろうと思う。

生命機能科学コース



第2学年沖縄修学旅行

修学旅行について 第2学年 津田 寛行
令和5年12月、先発・後発に分かれ、2学年は4泊5日の沖縄修学旅行を実施した。大まかな行程は以下の通りである。

- 1日目**
羽田から那覇へ移動し、美ら海水族館へ。夕食後、引率スタッフの紹介や修学旅行委員考案のクイズ大会を実施。
- 2日目**
午前は沖縄南部で平和学習、午後は首里城正殿から国際通りまで自主研修を実施。
- 3日目**
那覇から石垣島へ移動し、さらにフェリーで竹富島へ。竹富島にて修学旅行委員考案のフォトラリーを実施。
- 4日目**
終日オプションコース毎に活動。
主な内容は
①西表島でカヤック・トレッキング体験
②西表島クルーズ&由布島で水牛車体験
③石垣島でサバニ体験&石垣窯焼き体験
④黒島でウミガメ放流体験&サイクリング
⑤石垣島でシュノーケル体験&シーサー絵付け体験
- 5日目**
川平湾にてグラスボートなど石垣島散策。石垣島から羽田へ帰着

「安全で楽しく充実した修学旅行」にするため、事前学習で沖縄の歴史・文化・自然などを学んだ。また、オプションコース毎に集まり探究活動をすることで、クラスを横断して交流を持ち、現地でインタビューをしたり、関係する写真をたくさん撮ったり、自主的に動く姿が見られた。生徒の感想文を読むと、「ただ楽しかった」という内容ではなく、「平和について今まで以上に真剣に考えるようになった」、「環境破壊について考えさせられた」など、今回の修学旅行を通して多くの経験をし、学ぶことができたのだと感じた。

また、主に写真撮影を目的に本校として初めてスマートフォンの使用を限定的に許可した。初めての試みで不安も大きかったが、生徒はルールをよく守り、きちんと使用し、大切な思い出を心だけではなく形としてもたくさん残すことができたことと喜んでいて。

中学生の時にコロナ禍で修学旅行が中止になった生徒も多数いたため、生徒の楽しそうな表情や充実した思いを聞くと、無事引率が出来て良かったと強く感じた。





2D 渡部 悠人 (中野中)

修学旅行を通して普段はすることのできないような貴重な体験や思い出を作ることができた。普段は学校でしか会うことのないクラスメイトと生活を共にすることで、さらにお互いの理解や友情が深まり、「譲り合い」や「他者を思いやる」といった集団生活で大切なことを身につけることができた。

平和祈念資料館では目を背けたくなるような悲惨な写真や資料があった。しかしそれらは沖縄という地で実際に起きたことである。ガイドさんによる案内や資料を通して戦争について向き合うことができ、私たちが今享受している平和の理由を知ることができる貴重

な時間であった。戦争は二度としてはいけないことが実感でき、これからも語り継いでいかなければならないと強く思った。

竹富島は東京とは全く別の自然豊かな素晴らしい空間であり、中々味わうことのできない有意義な時間だった。修学旅行委員のイベントの企画などもあり、班のメンバーとは楽しく絆も深めることができた。お金を払ってくれた両親や修学旅行を企画、実行してくれた先生方、沖縄での施設の方などお世話になった方々には感謝したい。この修学旅行は人生において一生忘れることのない充実した五日間だった。

2H 前田 莉奈 (赤塚三中)

今回の修学旅行は、クラスや学年の仲間たちと仲を深められただけでなく、学習という面でもとてもいい修学旅行でした。私は中学時代に修学旅行に行けなかったため、こうして制限の少ない中でみんなと沖縄に行けたのが本当に嬉しかったです。

私は今まで一度も飛行機に乗ったことがなく、沖縄にも行ったことがなかったので、飛行機に乗る時点ですごくワクワクして楽しかったです。沖縄に着いてからはもっと楽しく、東京とは違い暖かくて、見える景色が自然でいっぱい感動しました。

また、私の中で思い出深いのがオプションコースで行った黒島サイクリングです。自

然の中をサイクリングするのが本当に気持ちよく、とても癒されました。

ホテルやバス移動では、友達とたくさん話す機会があり、修学旅行でしかできない話などをしました。

家に帰ってからは、沖縄でこんなこと、こんなものがあって、と家族に写真や動画を見せながらたくさん話しました。全て話せないくらいに色々な経験ができた修学旅行でした。みんなとのこの思い出は、私の人生の中でもとても印象的なものになったと感じています。この修学旅行のために様々なサポートをしてくださった先生方、旅行会社の方々、両親、関係してくれたたくさんの方に感謝しています。

2J 井野 涼介 (西早稲田中)

今回の修学旅行はコロナウイルスの影響もあって、私たちの学年初の宿泊行事でした。みんなと五日間同じ時間を過ごすにあたって、予定時間の五分前行動など、集団として生活することを意識し、自分勝手な行動をしないよう気をつけました。

私が特に印象に残っているのは、4日目の黒島でのウミガメの研究所です。さまざまな島の生き物の展示、亀の剥製、日本で唯一触ることができるロケットの破片、そして亀の放流といった普段東京に住んでいたら出会え

ないものにたくさん出会うことができました。

楽しい思い出とは別に、私は沖縄の島々をめぐる中で、砂浜に大量にあった、漂着物の問題や、過疎化に問題があると感じました。特に過疎化の面では、竹富島の小中学校の生徒が、30人程度しかいないと聞き、驚きと危機感を覚えました。今回の修学旅行を通じて、たくさんの楽しい思い出を作れたのと同時に今後の日本に起こりうる問題を考えていくことが必要だと改めて感じました。

学年レポート

令和5年度 この一年

世界は誰かの仕事でできている

第一学年主任 小林 仁



令和5年度の最大のトピックは、何といても「新型コロナウイルス五類移行」であろう。鶴報二五〇号でも書いたが、これにより日常が戻ってきたからである。

宿泊を伴ったオリエンテーション。クラス全員で大きな声を出して歌った、文化祭での合唱コンクール。三学年揃って同時に実施できた体育祭。フェイスシールドもパーティションも使わずに行われた、総合的な探究の時間。どれもが当たり前のように行われた。四年前の四月を思い起こせば、中学一年生の入学時は、登校することができなかった。登校できるようになっても、しばらく分散登校が続き、勉強だけでなく、行事や部活動には大きな制約が掛かっていた。五類への移行は、当たり前の事が当たり前にできる、つまり平時に戻ったことを意味している。

ここで、オリエンテーションでの校長先生の「宿泊行事ができるのは、当たり前ではない」という言葉を思い出して欲しい。宿泊できたということ

は、その裏側に緑の休暇村の職員の方々の支えがあったことを。文化祭で大声を出せた裏側には、生徒会・放送部や演劇部の支えがあったことにも意識を向けて欲しい。手前みそになるが、生徒が楽しく学校生活を送ることができるよう、第一学年の先生方の陰の努力があったことを付け加えておきたい。

当たり前の事が当たり前に行える裏側には誰かの仕事がある。だからこそ、生徒の皆は自分の仕事で世界を作っていくかなければならないし、自分を支えてもらっている多くの仕事に感謝の念を寄せなければならぬのではないだろうか。

この原稿を書いているのは一月だが、二月に行う予定のダンス発表会にも触れておこう。発案したのは教員だがアドバイスを留め、運営は生徒の主体性に任せている。我々教員は、この発表会が成功裏に終わることを確信している。そのように育ててきたからである。次年度は、この成功体験をもって学校の中心となる二年生の生活を送ることを期待している。

「当たり前前の日常」のありがたさ

第二学年主任 齋藤 純



昨年度は新型コロナウイルスの影響で、毎朝の検温、マスクの常時着用、昼食時はパーティションを立てての黙食、三密に注意、など様々な制限がありました。令和五年五月八日、新型コロナウイルスが第五類感染症となり、本校もコロナ前の日常が少しずつ戻ってきました。ここで、二学年行事を振り返りたいと思います。

五月の校外授業は鎌倉に行き、修学旅行の班別研修の練習を兼ね、「担任へ勧める散策プラン」を作成しました。二年生の探究の目的である「他者理解」を踏まえ、まずは身近な担任を理解することが狙いです。本やネットで調べた内容を現地調査で確認し、新たにわかったこと、感じたことをまとめることで、興味深いプランがたくさんできました。

六月の鶴ヶ丘祭では、入場制限を

三年ぶりに撤廃し、たくさんの方にクラス企画を見ていただきました。季節外れのインフルエンザや新型コロナウイルスに留意しつつ、クラスで一つのものを作り上げる達成感を得られた貴重な経験になりました。

十月の体育祭も、学年毎に時間を分けての実施から、三学年が同時帯に実施することができました。学校行事として約一二〇〇名が一同に会することはめったにありません。久しぶりに大人数のエネルギーを感じることができました。

そして十二月、二学年最大の行事である沖繩への修学旅行が実施されました。決められたコースをただ機械的にたどるのではなく、学び、成長できる修学旅行にするためにどうすればよいのか。学年教員と修学旅行委員の生徒が協力して企画し、充実した旅を作ることができました。

今、以前まで当たり前にできていた日常が戻りつつあります。制限のある生活をしたからこそ、その当たり前のありがたさが理解できるのではないでしょうか。また、戦争や自然災害で当たり前の日常を送ることのできない方もたくさんいらっしゃいます。今一度、一日一日を大切に過ごすことを意識し、最終学年を充実したものにしてほしいです。

三年間を振り返って

第三学年主任 滝澤 満



入学式は新入生のみで行い、保護者にはオンライン視聴をお願いしたことを思い出します。新型コロナウイルス感染症の影響を受けての、制限のある中でスタートでした。ですが、最初のオリエンテーションで行った綱引きでは、クラスで力を合わせて全力で取り組む姿を見て、この制限を受ける生活の中でも生徒たちは力強く成長していきけると確信とともにたくましさを感じたことを思い出します。

二年生では、中華街での校外授業を行い、昼食は重慶飯店でのお弁当でした。ご馳走でしたが、食事の仕方はスクール形式。同じ方向を向いて食べる形式です。私語も制限しなければならず、静かな食事会場で、皆同じ方向を向いて食べている状況を、そんなこともあったよねと懐かしく思い出してしまいます。沖繩修

学旅行は、三年生へ進級直前の三月でした。中学校で修学旅行が制限された生徒もいるため、必ず実施し、高校生活での学びと大切な思い出になるものになりたいと計画し実行してきました。

三年生の五月には、新型コロナウイルス感染症は五類感染症への移行となり、多くの行事が対策を講じながらも以前のように行えるようになってきました。その中の鶴ヶ丘祭の模擬店では、飲食物を調理・販売できたことは大きな前進でした。その売り上げは、代表生徒達の考えにより、能登半島地震の義援金として石川県に寄付することになりました。

これらの学校生活の中で生徒たちは心身ともに成長してきました。そして、あらたなスタートを迎えます。今後自分の成長を確認しながら、できなかったことができるようになる楽しさを実感しながら、さらに成長してほしいと思います。



パラアスリート若生裕太さんによる講話

令和六年一月九日、三学期始業式において、本校の卒業生で現在はパラ陸上競技でも活躍されている、若生裕太さんによる講話が行われました。

皆さんこんにちは！二〇一五年度卒業生の若生裕太です。現在はパラ陸上競技視覚障害クラスでやり投げをしています。

三学期の始業式のお時間で、講話の機会を設けて頂き、本当にありがとうございました。講話の際にお話させていただいたことをこちらに改めて記載させていただきます。

私が大切にしている「人生全てポジティブ要素」という考え方をお伝えできればと思います。

「人生全てポジティブ要素」は過去の出来事は変えられないが、解釈は変えることができるという意味です。失敗や挫折、苦難なことや困難なことは誰にでも起こり得ることだし、これから先の人生でも必ず訪れると思います。

それでも、ひとつひとつ乗り越えていけば、何ヶ月、何年か先に過去の出来事を振り返った時に「あの時があったから今の自分がいる」と思えます。

私は、二十歳の頃に突如視力が低下してしまうレーベル遺伝性視神経症を発症し、視覚障害となりました。発症した当時は、言葉に表せないほどの絶望感がありましたが、今まで以上に人の温かさを感じることで

き、現在ではたくさんの方々に支えられ、背中を押して頂いているおかげで、新しい夢に向かって挑戦することができています。

コロナ禍でも、辛い日々を乗り越えてきた鶴高生なら大丈夫です！

出来事のプラスな面、ポジティブな面を見て、今できることを全力で楽しんで取り組んでください。

皆さんの益々のご活躍を心より願っています。

ありがとうございます。

若生 裕太



第四十回文芸コンクール入賞者決定

「令和五年度日本大学付属高等学校等第四十回文芸コンクール」の入賞者が決定しました。今年度は本校生徒が【短歌の部】で佳作（一名）、【読書感想文の部】で佳作（一名）、【小説の部】で佳作（一名）をいただくことが出来ました。入賞者の皆さん、誠におめでとうございます。

卒業生や在校生の皆さんはコンクールに関わらず、今後も国語力向上の一環として文芸への関心を高め、積極的に創作活動に励んでほしいと思います。国語科一同、皆さんの活動を引き続き応援していきます。

短歌の部

佳作 栗原 玉帆（一B・南菅中）

読書感想文の部

佳作 兼平 結愛（一B・渋谷本町学園中）

小説の部

佳作 渡邊 涼葉（一K・稲城五中）



令和5年度 総合型・学校推薦型選抜合格者報告会 進路指導部 谷口富太郎

1月27日(土)13時20分より、1・2年生の希望者に向けて、「令和5年度総合型・学校推薦型選抜合格者報告会」を開催しました。報告者は8名で、受講者は27名でした。パワーポイントの資料をもとに、3年生はそれぞれ工夫に富んだ取り組みを発表し、受講生徒はメモをとりながら真剣に耳を傾けていました。限られた時間での発表となりましたが、とても内容のある報告会となりました。

報告大学(発表順)

- ・東京薬科大学 生命科学部 生命医科学科(総合型)
- ・立教大学 スポーツウェルネス学部 スポーツウェルネス学科(アスリート選抜)
- ・日本大学 芸術学部 デザイン学科(総合型)
- ・明星大学 教育学部 教育学科 特別支援教員コース(総合型)
- ・立教大学 経営学部 経営学科(総合型)
- ・信州大学 農学部 農学生命科学科 生命機能科学コース(学校推薦型)
- ・星薬科大学 薬学部 薬学科(学校推薦型)
- ・慶應義塾大学 総合政策学部(総合型)

主な報告内容

- ・入試概要(面接・小論文・課題・資格など)
- ・入試準備(受験を決めた時期・準備内容・早めの準備)
- ・オープンキャンパス・入試説明会への参加(積極的な質問)
- ・部活動と勉強の両立
- ・1日の勉強時間(時間の使い方)
- ・学校の授業の大切さ
- ・全体的なアドバイス



部活動報告

■スキー部

▽全国・関東高等学校スキー大会東京都予選会(1/5~8 於:鹿沢スノーエリア)

女子スラローム

第2位 植松 春香 (3K・常盤中)

第11位 森 きなり (3E・高田中)

第13位 稲垣 海咲 (3F・つくし野中)

第19位 横田 佳歩 (3H・晴海中)

男子スラローム

第11位 近藤 優太 (3B・瀬田中)

第50位 牛山 陽登 (2H・西生田中)

女子ジャイアントスラローム

第4位 植松 春香

第9位 森 きなり

第15位 稲垣 海咲

第19位 横田 佳歩

第22位 堀口 あかり (3D・稲城六中)

第26位 山下 小柚妃 (2I・旭中)

第36位 福村 果南 (1C・桜木中)

男子ジャイアントスラローム

第15位 近藤 優太

◆全国大会出場権獲得◆

植松 春香

(女子スラローム・女子ジャイアントスラローム)

近藤 優太 (男子スラローム)

森 きなり

(女子ジャイアントスラローム)

◆関東大会出場権獲得◆

稲垣 海咲

(女子スラローム・女子ジャイアントスラローム)

植松 春香

(女子スラローム・女子ジャイアントスラローム)

牛山 陽登 (男子スラローム)

近藤 優太

(男子スラローム・男子ジャイアントスラローム)

福村 果南

(女子ジャイアントスラローム)

堀口あかり

(女子ジャイアントスラローム)

森 きなり

(女子スラローム・女子ジャイアントスラローム)

山下小柚妃

(女子ジャイアントスラローム)

横田 佳歩

(女子スラローム・女子ジャイアントスラローム)

■女子バスケットボール部

▽春季大会兼関東高校東京都予選(4/9~5/5)

2回戦 本校52-67東洋英和女学院

▽全国高校総体東京都予選(5/14~6/25)

1回戦 本校108-20順天

2回戦 本校40-54都松が丘

▽日本大学体育大会(9/12~9/13)

大会1日目 本校16-12日大日吉

本校17-29日大二

本校24-17佐野日大

大会2日目

本校14-99土浦日大

本校62-66千葉日大一

最終成績:7位(14校中)

▽夏季大会(8/20~8/23)

1回戦 本校27-78日体桜華

▽私学第9支部大会(9/17~9/18)

大会1日目

本校46-12光塩女子

本校44-14大妻中野

大会2日目

本校32-45國學院久我山

本校25-40日大二

▽新人大会(11/3~1/21)

1回戦 本校84-41頌栄女子学院

2回戦 本校59-56都芦花

3回戦 本校61-78都青山

■アメリカンフットボール部

▽第23回STICK BOWL(関東高校選抜対抗戦)

本校より東京都選抜チームに関根

那瑠(2I・井田中)・岡田 真斗(2I

・長沢中)の2名が選出される。

関根 那瑠は副将。

マネージャー:竹田 莉菜(2I・大

師中)・萩原 海心(2I・十二

月田中)

東京選抜A 3-13 SICN選抜

東京選抜B 8-21 神奈川選抜

@駒沢第二球場

▽第13回NEW YEAR BOWL(関東地区選抜・関西地区選抜対抗戦)

本校より東京都選抜チームに関根

那瑠・岡田 真斗の2名が選出さ

れる。

東京選抜13-9兵庫・広島選抜

@MKタクシーフィールド

■男子ソフトテニス部

▽新進大会(11/3・5)

ベスト64

清水 芳将(2B・篠崎中)・

阿閉 裕樹(2E・深沢中)

ベスト128

森本 拓磨(2A・深沢中)・

中村 柊哉(2G・立川一中)

前田 雅仁(2D・三鷹一中)・

渡部 悠人(2D・中野中)・

麓 悠磨(1G・井荻中)・

高島 康太(1D・明豊中)

▽新進団体戦兼東京インドア予選(11/23)

ベスト16

清水 芳将・阿閉 裕樹

森本 拓磨・中村 柊哉

守屋 祐汰(2E・宮崎中)・

土生倫太郎(1G・中野島中)

高橋 一輝(1I・井草中)・

柴田 翔世(1J・井草中)

▽東京インドア大会(12/27)

出場

清水 芳将・阿閉 裕樹

森本 拓磨・中村 柊哉

守屋 祐汰・土生倫太郎

高橋 一輝・柴田 翔世

■女子ソフトテニス部

▽新進大会(個人)(10/21・28・11/3)

ベスト32

高畑 凜(2H・南菅中)・

高岡 紗楽(2G・赤塚三中)

▽東京都私立高等学校新人選手権大会(11/12・11/26)

ベスト32

野牧 稚菜(2G・赤塚三中)・

楠美 優美(2F・清明学園中)

■ウエイトリフティング部

▽令和5年度第39回関東高等学校ウエイトリフティング競技選抜大会(2024/1/13~14於:駒沢オリンピック公園屋内球技場)

男子89kg級 トータル225kg 3位

小川 隼麻(2E・滝野川紅葉中)

男子89kg級 トータル220kg 4位

中川 颯真(2B・瑞雲中)

男子96kg級 トータル213kg 2位

稲葉 啓太(2D・品川学園)

女子55kg級 トータル148kg 1位

尾形 薫子(2E・花小金井南中)

女子55kg級 トータル109kg 5位

宇佐美優香(2C・荏原六中)

女子64kg級 トータル113kg 3位

中村 美陽(1G・葛西中)

■演劇部

▽東京都私立高校演劇発表会(12/27~28)

「クリスマスプレゼントの話」

作 諏訪 朝花(1H・桜川中)

優秀賞

■吹奏楽部

▽クリスマスコンサート(12/23)

▽第47回東京都高等学校アンサンブルコンテスト(12/27)

サクソフォン八重奏 金賞

佐伯 葉菜(3J・松ノ木中)

鬼塚 大貴(3I・狛江二中)

松田 千佳(3H・井荻中)

北沢 羽皇(2F・中野二中)

秋元 優明(2B・明豊中)

高田 りの(2G・戸越台中)

伊東 愛莉(1F・松木中)

米津 嘉乃(1H・三鷹二中)

バリトンチューバ四重奏 銀賞

岩崎 桃子(2G・南中野中)

島村 美結(2E・松江一中)

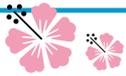
内野 にこ(1F・三宿中)

吉羽 絢志(1H・赤塚三中)

▽第69回第九支部親睦音楽会(1/14)

■バトントワリング部

▽令和5年12月第27回シニアバトントワリングフェスティバル 出演



第2学年沖縄修学旅行

